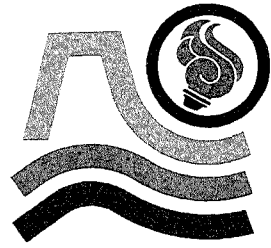


広 報

国体特集号

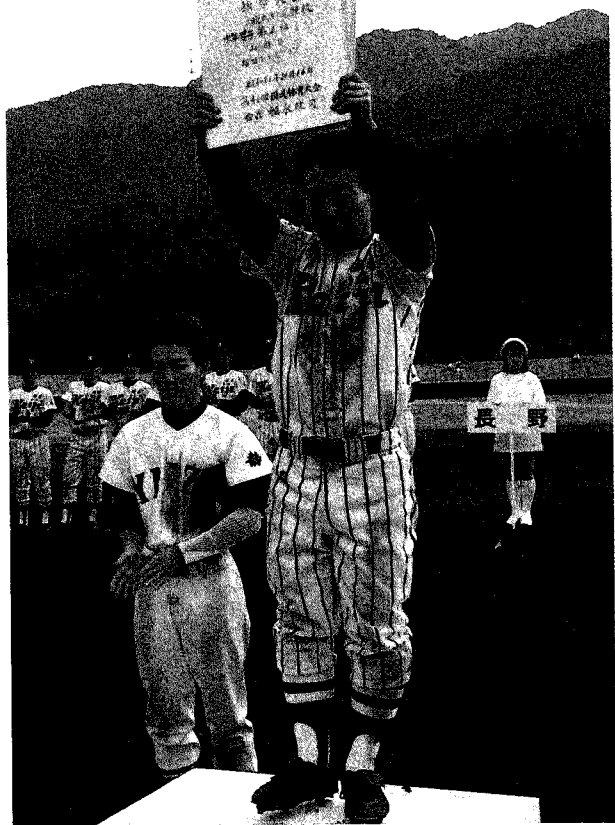
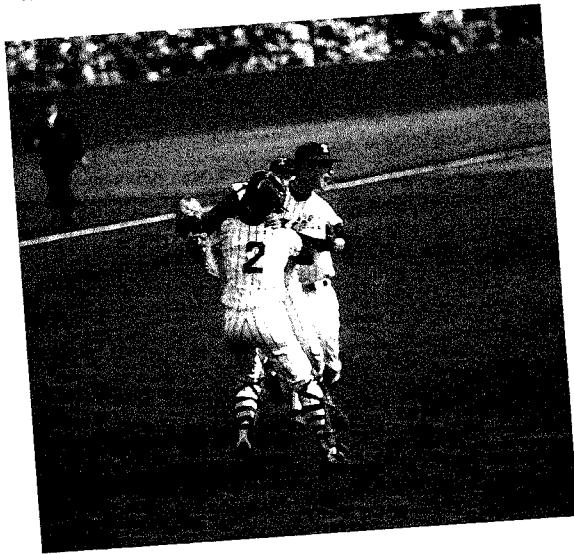


つる

11月号外

おめでとう

かきくクラブ



ふれあいの心で結ばれた四日間

「ふれあいの輪を広げよう」をスローガンに六日にわたり繰り広げられたかいじ国体秋季大会は、本県が総合優勝を獲得し、十月十七日閉幕しました。

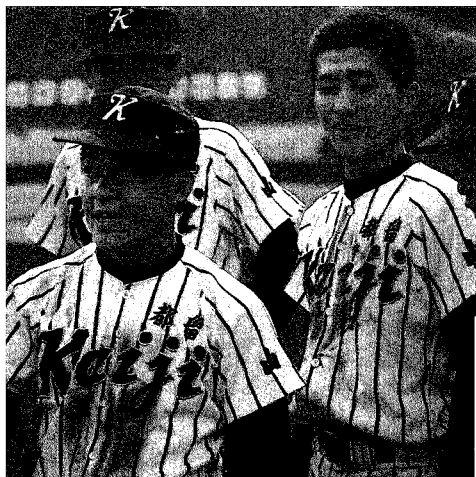
本市では、軟式野球競技少年男子とバスケットボール競技成年男女が楽山球場と市民総合体育館を中心に六会場で華々しく行われました。

関係者や多くの市民の協力により、各競技会場とも熱戦が展開され、たくさんの方が訪れ終日にぎわいました。

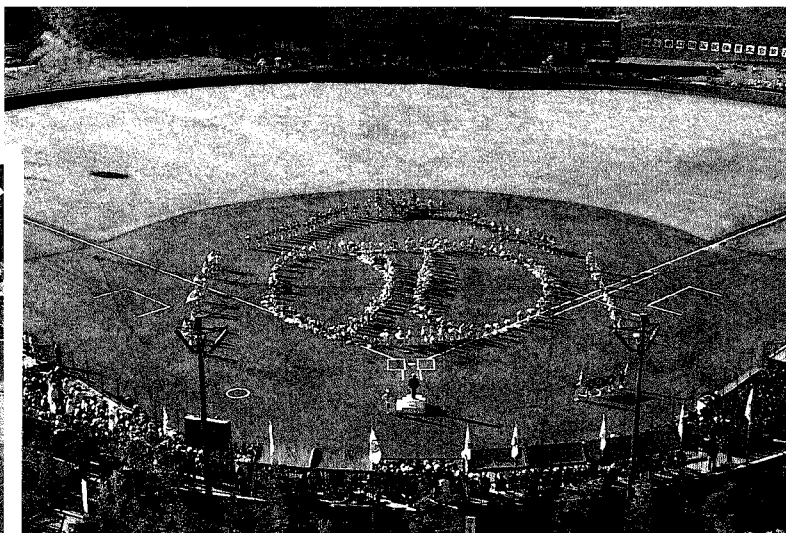
地元代表の都留かいじクラブは、一回戦、二回戦とも順調に勝ち進み、準決戦で静岡県を5-4と下し、決勝では長野県の茅野クラブを4-0と破り、優勝に輝きました。

また、バスケットボール成年男子の決勝は、本県と京都府で行われ、92-63と大差で優勝、同じく成年女子の本県チームは準々決勝で石川県と対戦し59-61と1ゴール差で惜しくも破れました。

なお、十三日から本市で行われた各競技は、どの試合も好プレーが続出し、熱戦が繰り広げられ十六日に終了しました。市民のみなさんの温かい応援とご協力ありがとうございました。

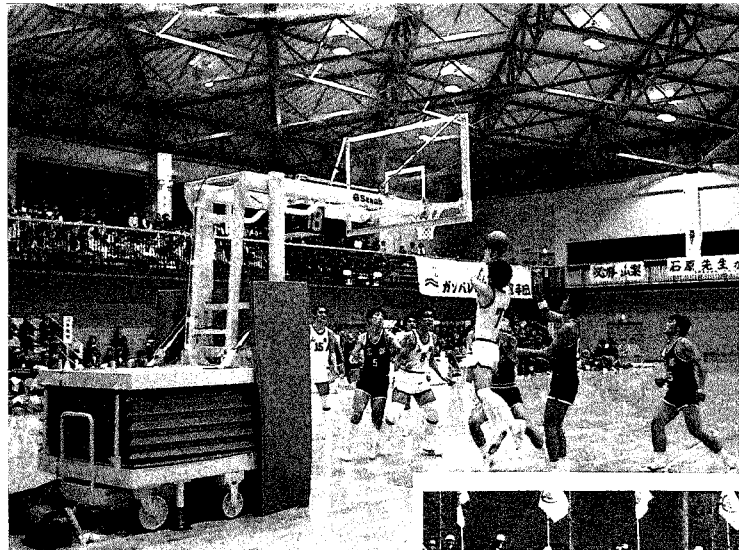
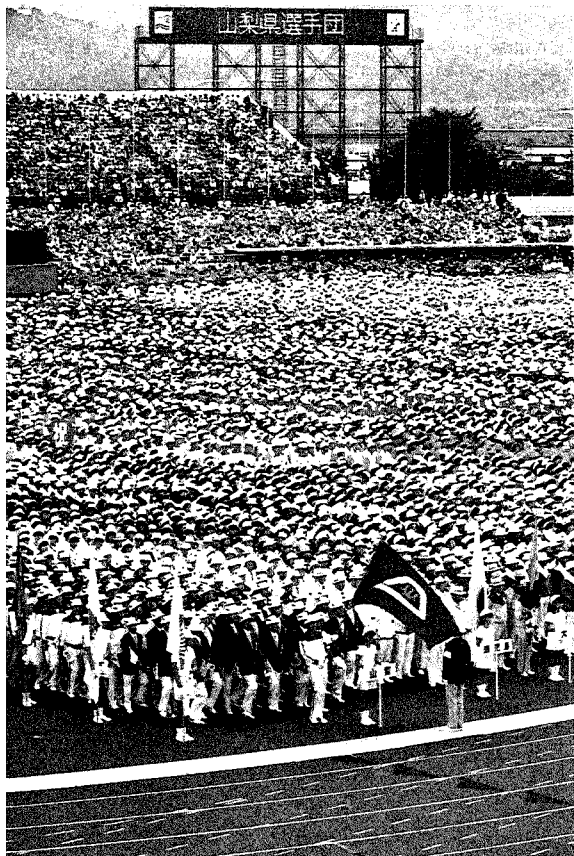


特集 かいじ国体 (秋季大会)

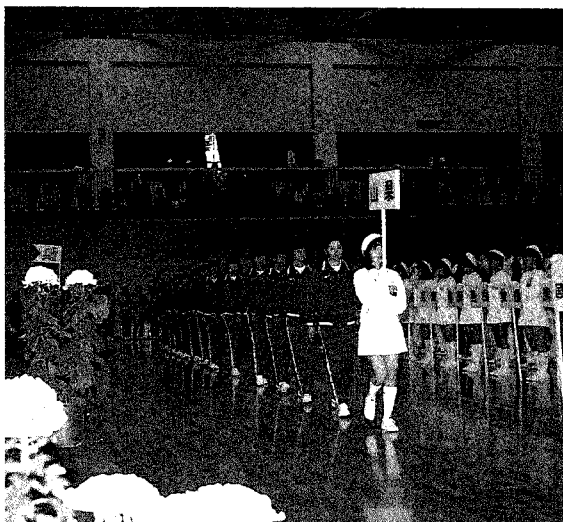
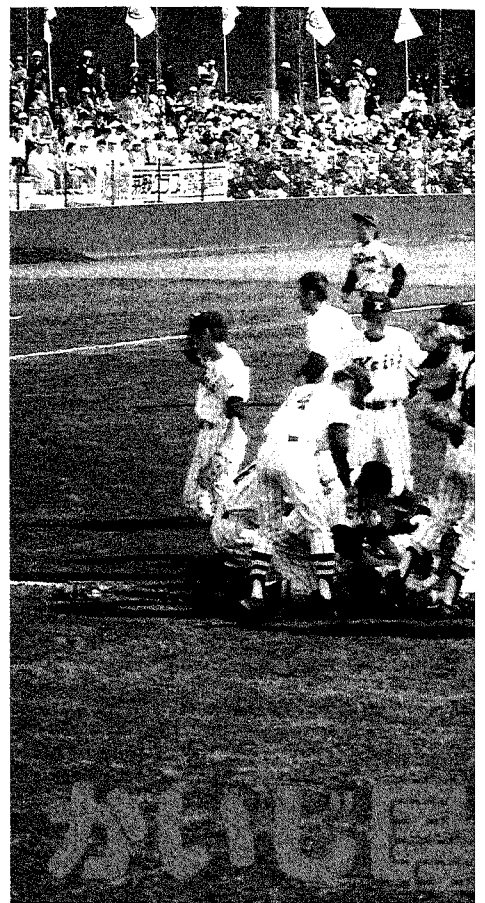


▲軟式野球開始式でボールのかたちをとる木二小マーチングバンド
▼ガンバレ!! (奥山球場でかいじクラブを応援するみなさん)
▲手づくりの小旗でリレー隊を応援する開地保育園のみなさん





- ▼優勝の涙、それは青春の証
- ▲決勝戦で山梨の久保島選手のジャンプシュート
- ▼市民総合体育館で一流プレーに感激
- ▲総合開会式で入場する山梨県選手団



- ▲連日の声援ありがとう（境保育園）
- ▲バスケットボール開会式で入場する山梨県チーム
- ▶軟式野球開会式で歓送のことばを述べる都倉市長

